

# 第10回 木曾三川下流域自然再生検討会

## 【第9回検討会における主な指摘事項とその対応】

平成31年1月11日

国土交通省 木曾川下流河川事務所

# 検討会における主な意見への回答

表. 第9回検討会における主な意見に対する今後の対応(案) (第10回 議題関連) 1/2

No.	項目		意見	今後の対応(案)
	議題項目	細分類		
1	①自然再生の課題についての点検	3.1 基盤環境の変化に伴う生態系の劣化	タケについては、堤防の安定性に対してはよろしくないが、自然環境の中で植生したものを簡単に除去していいのかという問題もあるため、その点は今後検討するべきかと考える。	マダケは、水辺の国勢調査において拡大の状況等をモニタリングし、環境面、治水面、維持管理面から対策の必要性を検討していく。
2			ヤナギについては、多様性があれば利用する昆虫も増えるため、食物としての大事さがある一方、順次伐採していかないと治水や維持管理面にはよくない。また、ヤナギが増えることにより、もともと生えていた草本類が減少する可能性があるため、取り扱いについては今後検討していく必要がある。	ヨシ原におけるヤナギの拡大については、河川水辺の国勢調査において拡大の状況等をモニタリングし、環境面、治水面、維持管理面から対策の必要性を検討していく。
3		3.2 その他の課題と環境保全方策	特定外来種だけではなく、現場に即した対策を実施する必要がある。例えば、オオカナダモ等の水草の外来種の駆除を実施すると良いのではないかと。	御指摘のとおりであり、関係団体から御意見を聞いている。少し踏み込んだ記載内容には修正を行うことを検討する。
4			流木について、一部はそのまま伊勢湾へ出て、それが海岸では積み上げられて無残な状況になっている。周辺の陸域から入る流木は、大雨と絡んで防災上の問題も絡むため、何かコメントを入れるべきである。	防災上の問題でもあるため、今後、再生計画に記載するのも踏まえて検討を行う。
5		4.1 これまでの自然再生事業の評価・課題	「地区により木曾三川下流域における生態系の改善につながることを示す生物の生息数の増減がみられたため、さらなるヨシ原再生による基盤環境の拡大が必要である」とあるが、この増減は環境が変化したためなのか、自然現象の増減なのかかわからないので、生物の増減がどういう仕組みで起きているのかという解析が必要である。原因によってはさほど大きな問題ではない可能性もある。	自然再生を整備した地区の評価手法については今後検討を行う。
6			ヨシ原の減少や浸食等の原因を検討していくことに加え、必要な場合は追加対策を図る等の積極的な書き方にして頂いた方が良い。	自然再生計画書の見直しでは、再生だけでなく、『保全』という考えも取り入れて、現在良好なヨシ原や干潟等を保全していくことを予定している。
7			下流域は人間のインパクトが非常に強いエリアであるため、自然な場所はもともと少ない。人間が積極的に管理して保全するという視点を入れると良い。	

# 検討会における主な意見への回答

表. 第9回検討会における主な意見に対する今後の対応(案) (第10回 議題関連) 2/2

No.	項目		意見	今後の対応(案)
	議題項目	細分類		
8	①自然再生の課題についての点検	その他	標準偏差を示す場合にはグラフの形状を検討願いたい。	グラフの形状は修正を実施する。
9			木曾三川という一括りにできる部分と、河川毎にメインが分かれる部分についてはそれが分かるような記載にしてもらいたい。	河川整備計画や自然再生の重点メニューの部分で扱っていきたいと考えている。
10			農業用排水路等、非常に多くの水生生物が住んでいるという調査結果も示されているので、「支川」は「支川等」にしておいて貰いたい。	「本川・支川・堤内地等」の記載に改める。
11	②自然再生の目標及び対象とする自然再生の項目の点検	4.2 自然再生の目標と期待される効果	昭和30年代を目標としているが、生活様式も当時とすっかり変わっている。その中で、どこまで様々な生物にとって良い環境にしていくのか、本質的に目標とすべきことなのかということについて、どこかに反映できないか。自然再生計画書に反映できなくても今後より具体的な目標となるよう議論していくべきである。	木曾三川下流域における自然再生の目標設定のイメージについて整理させていただいた。現在の制約条件を踏まえ、再生可能な目標を河川毎に設定していく予定である。
12		4.3 対象とする自然再生の項目	ヨシ原の再生に拘らず、現にあるヨシ原の保全についてもしっかりとしてもらいたい。揖斐川のように潤沢なヨシ原があるところでも課題はあるということで、保全維持にシフトすることでより現状に即した形での対応になるのでは。	現にあるヨシ原の保全についても考えていく予定である。